

# あなたのため

〔家庭の同行〕  
最終回

## 引きだされる力



NPO 法人くだけけ会代表  
和田重良

1948年小田原市生まれ  
くだけけ生活舎での共同生  
活（人生科や農作業）を  
おして、青少年や家庭の生  
活にさまざまなメッセ  
ジを送っている。

さて、最終回は「失敗した時の対応」についてお話をさせていただきます。

### 「問い」を返してみる

どんなに真面目に一所懸命やっても人生には失敗もあります。ましてやイイカゲンにやっていると失敗だらけなのです。

何をやらなくても失敗だと思わない人もいるでしょうけれど、ちょっとしたこと、シマッタと思う人も多いでしょう。

「これは失敗した！」と思った時、又は「子どもが失敗をしかけてしまった時の親の対応」はどんなものがよいのでしょうか。

原点、出発点に戻ってみるのが何よりよいのですが、もう一つほくが心がけていることがあります。

「問い」を返してみるということです。なぜ？ どうして？ こうしたのか？ をグルリの条件を整えるより先に自分に返してみるのです。

子どもが失敗してしまった時ももう一度「問い」を返すために、こちらからアレコレガミガミと解決策を言わないようにしています。遠まわりでも自分に問い返すことで答えを見つめる力がつくのですから。

### 人生観を見直すチャンス

失敗をしてしまった時こそ、人生観を見直すチャンスです。

ウカウカとしていなかったか？……甘く考えていなかったかなどと思うと、失敗こそ見直すチャンスが得られている時だとわかります。

人生観というのは「何をしあわせと思うか」ということに代表されるように、人によってマチマチです。

「うまいことやって、おいしい汁を吸いたい」と思っている人さえるくらいですから、失敗と思う内容も千差万別というわけです。

ほくのような者の所にもいろいろな人が「相談」と称してお話に来てくれます。たいてい何か失敗して、ニツチもサツチもいかないと思いい「相談」をしなくなるのでしょうか。

そういう時たいいほくにもウマイ手はありませんので、「人生観を見直すチャンス」としてお話させていただきます。

例えば、「子どもを、ご近所の誰よりも成績のいい優秀な子にしたい」と望んで尻をたたいて来た挙句、その子が不登校になり家で無気力な状態になっ

た……というご相談がありました。（実は、この種の悩みごとがものすごく多いのです）

もちろん、「どうしたら、元の、勉強のやる気のあるいい子にさせるか」という願いなのでしょうが、その原因は「誰よりも成績のいい優秀な」というところにあるのです。

人間にとってほんとうにしあわせであると思えることは、伸び伸びと、イキイキと、楽しく充実して生きるということなのです。他との比較ということがメインテーマではないのです。そこは変えないと親の方も子の方も根本解決はないのですから。

### 「よかったね」の意味

ほくはどんなことがあっても「よかったね」と言ってしまう口グセがあるので、よく「ぜんぜんよくないよ」と返されてしまうことがあります。

そりゃあそうですよね。例えば受験で失敗した子に「よかったね」とは言えませんが、実はそれでも「よかったね」なのです。実際にそれを実行したお母さんがいました。その後の話はとてもいい方向に向かいました。

### あなたにとって一番よいもの……

その根源は、ほくは父親からいろいろな場面で言われた「あなたにとって一番よいものが与えられている」という言葉にあるのです。

一番よいものを与えてくれてるのは誰なのかよくわかりませんでしたから、たぶん神や仏様なのだろうなと思いい、「多分今の自分には一番よいものが与えられているんだ……よかったね」と言うのです。

ここ一番や大一番の時には神頼みだの仏頼みだの

したくありませんが、そういう時にお願する言葉は「成功しますように」とか「受かりますように」ではなくて、「今のほくに一番よい結果を与えて下さい」となるのです。

どんなことも、自分に一番よいものが与えられているとすれば「よかったね」以外に出て来ません。

それと、失敗が必ずこれからの糧となるという意味でも、努力がムダで、虚しいものだと思わないためにも、「よかったね」という受けとめは必ず大きな力となっていくのです。

### 自然の風景

#### 春の中で

みんなも日曜などにはなるべく野や山に行ってください。家でゴロゴロしてテレビを見たり、兄弟喧嘩をしたり、グズグズ言ってお母さんを困らせたり、クダラナイ映画を見たりして過ごしてしまわないで、外に出て自然をよく見てください。自然をからだで味わえばいいのです。自然から教訓を読み取るうなどど生意気なことを考えてはいけません。ただ山を眺め、草を見さえすればいいのです。そうすれば自然はひとりでああなたの中に浸み込んで、あなたを

人間らしい人間にしてくれます。

みんなにとって勉強も運動も大切ですが、それによらず大切なのはこのように自然に眼を開くことです。つとめて山や野に出ることにしましょう。遠くへ行かなくてもいいのです。すぐその辺に出ればそこに大自然が広がっているのですから。



和田重正著「山あり、花咲きて 父母いませり」より

## 失敗した時の対応

三十回に分けてお話させていただいてきたこのテキストもいよいよ最終回です。

次号からはまた違ったテーマでより深く人生を味わっていただけるよう「魔法の薬」のお話をさせていただきます。